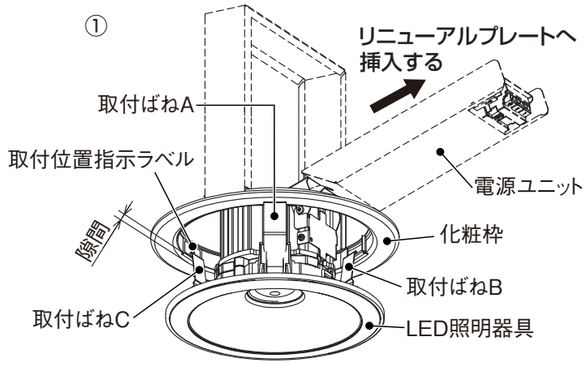
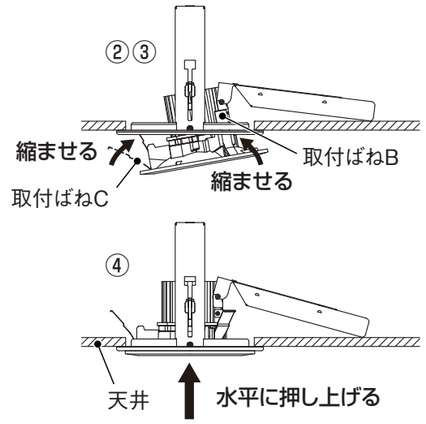
[LED 照明器具取付手順]

① 取付ばねＣと取付位置指示ラベルの位置を合わせ、電源ユニットをリニューアルプレートへ挿入する。
② 取付ばねＡ、Ｂを矢印の方向へ縮ませ、リニューアルプレートに挿入する。
③ 取付ばねＣを縮ませ、リニューアルプレートに挿入する。
④ 反射板枠が天井に密着するまで反射板枠を押し上げる。

⚠注意
取付位置指示ラベルと取付ばねＣの位置を合わせる（落下の原因）





注）LED 照明器具の取付ばねをリニューアルプレートに取付ける際、化粧枠と金具の隙間に取付ばねが入り込まないように取付けてください。

据付工事後の確認

● 据付工事が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。不具合がありましたら、必ず直してください。（安全性が確保できず、また性能を発揮できません。）

チェック内容	チェック欄
リニューアルプレートが天井に、正しく取付けられていますか。	
LED 照明器具とリニューアルプレートの間に隙間はありませんか。	

器具の取扱い

● 受信電波が弱い場合には、AM及び短波放送では雑音が入る場合があります。
● 器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
● 赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具から離してご使用ください。（雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。）
● 放送設備などの音声信号や映像信号は、微弱なため電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

器具の清掃

＜器具のお手入れについて＞
器具の汚れは、柔らかい布をうすめた中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。
シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ性洗剤・薬品などは使用しないでください。

＜カバーのお手入れについて＞
カバーはキズつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。

⚠警告 電源スイッチを切ってから行う。（感電の原因）

⚠注意 点灯中および消灯直後の器具には触らない。（高温のためやけどの原因）

お 願 い

● 周囲温度は－10 ～ 35℃の範囲で使用してください。
● 3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
● リニューアルプレートの化粧枠と LED 照明器具の枠の色、つや感には違いがあります。ご了承ください。

異常時の処置

⚠警告 煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

取扱い・修理のご相談は、まず**お買上げの販売店・施工者・設備業者へ**

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

ご相談窓口 照明技術相談センター
フリーダイヤル **0120-348-027**（無料）
受付時間 9時～17時（土・日・祝日は除く）
FAX (0467) 46−8861

お買上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。

MITSUBISHI ELECTRIC

E771Z064H20

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

LED ダウンライト用リニューアルプレート

形名 **EL-X0131**　**EL-X0132**

取扱説明書

○施工の前に、この「説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○据付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。
図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度

準備と確認（厳守）
● **施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程、据付工事説明書に従って行う。**（施工不備により、火災・落下・感電の原因）

設置場所（禁止）
● **軒下用器具（EL-WD シリーズ）使用時は、傾斜天井に取付けない。**
● **傾斜天井用器具（EL-D18/3 シリーズ）使用時は、屋外・軒下に取付けない。**
● **軒下などの屋側以外の屋外で使用しない。**
● **軒下等の雨線内で使用できます。サウナや風呂場などの高温・高湿になる場所や屋内プールなどの高湿になる場所で使わない。また背面より水がかかる場所には取付けない。**（過熱による火災、絶縁不良による感電・火災の原因）
● **35℃を超える高温、85%RH を超える高湿度、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。**（落下・感電・火災の原因）
● **天井埋込み専用ですので天井直付けや壁面及び床面への取付けはしない。また、補強のない天井、断熱施工天井には取付けない。**（指定外の取付けは火災・落下の原因）
● **引火するおそれのある場所「ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所」では使わない。**（火災の原因）

据付工事（禁止）
● **器具取付けの際は電線を挟まない。**（絶縁不良により感電・火災の原因）
● **配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。**（絶縁破壊により感電・火災の原因）
● **電源線は器具の外郭に直接触れない。**（過熱して火災の原因）

取扱い（禁止）
● **器具の改造や指定部品以外の交換はしない。**（火災・感電・落下の原因）
● **器具を布や紙などで覆わない。**（可燃物を被せて使うと火災の原因）
● **器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。**（火災・感電の原因）
● **適合部品以外は使用しない。**（落下の原因）

⚠注意 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

設置場所（禁止）
● **さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。**（劣化による落下の原因）
● **雨水のかかる場所で使わない。**（水気・湿気が入り感電の原因）
● **海岸の近くなど、塩害の恐れのある地域で使用しない。**
● **器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。**（絶縁不良やさびにより感電・落下の原因）
● **器具の外郭を天井内の造営材・ダクトに触れさせない。**（火災・感電の原因）

（厳守）
● **器具の取付けは、質量に耐える所に取付ける。**（落下の原因）

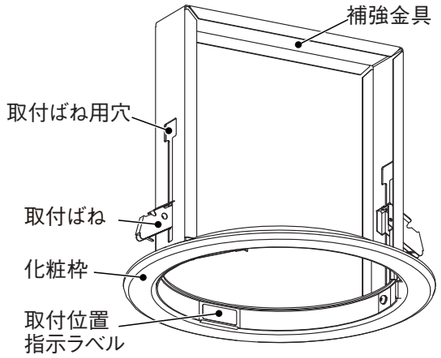
取扱い（禁止）
● **お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。**（火災・感電の原因）
● **器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。**（過熱して火災の原因）
● **落としたり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。特に器具清掃のときはご注意ください。**（破損・ケガの原因）

（厳守）
● **明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。**

器具の施工手順

1 設置前 各部の名前と設置場所の確認。

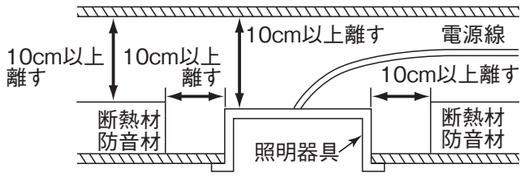
① 器具質量（照明器具を含む）（約 1.5kg）に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
② 補強材を入れる場合、天井内で動かないよう固定する。
● ロックウール等、柔らかい天井に取付ける場合、天井材の損傷、枠と天井面の間に隙間ができることがありますので、天井上面との間に補強材を入れてください。（落下の原因）



⚠ 警告

- **器具の取付けは据付工事説明書に従い行う。**（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）
- **器具の取付けは質量に耐える所に取付ける。**（落下の原因）
- **断熱施工天井に取付けない。**（火災の原因）

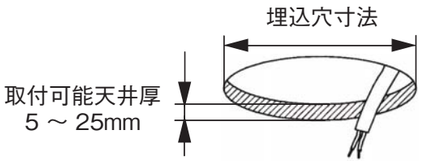
断熱材・防音材をご使用の場合は、次の取付条件をお守りください。



電源線は、断熱材・防音材の上側にくるようにする。
電源ユニットの上に断熱材がかぶらないようにする。

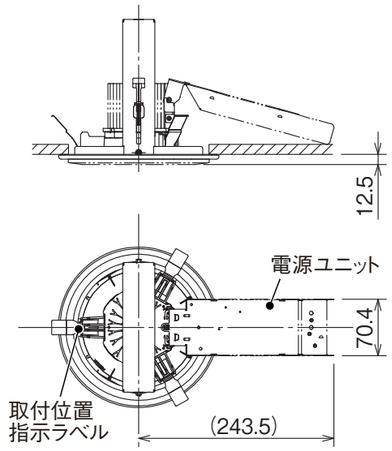
2 埋込穴の確認 既設埋込穴の径と天井内の障害物を確認する。

① 天井に適切な埋込穴があいていることを確認する。
●範囲外の場合、天井と器具の間にすき間発生や、雨水の浸入の原因となります。



形名	埋込穴寸法（mm）
EL-X0131	$\phi\ 175^{+3}_{-0}$
EL-X0132	$\phi\ 200^{+3}_{-0}$

⚠ 警告 断熱施工天井に取付けない（火災の原因）



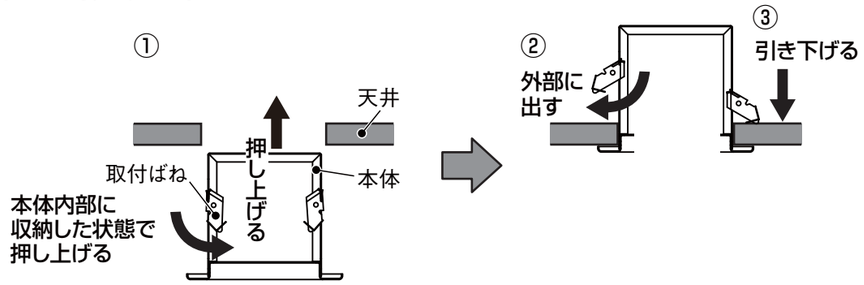
器具取付状態
（EL-WD01/3（350NM）取付時）

取付位置指示ラベルの逆側に、電源ユニットが位置します。リニューアルプレート施工時は電源ユニット側に障害物がないよう、取付位置指示ラベルの位置を確認してください。

3 器具の取付 器具を埋込穴にいれる。

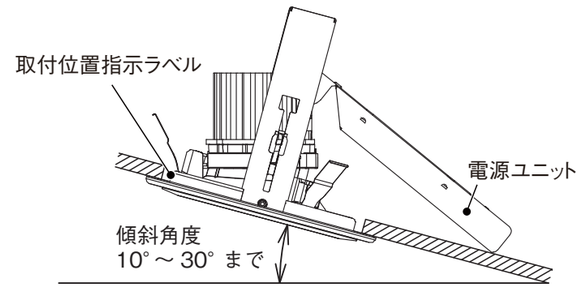
取付け、取外し時は軍手等で手を保護してください。

＜ 取付手順 ＞
① 取付ばねを本体内部に収納し、埋込穴に押し上げる。
② 取付ばねを回転させ、本体外部に出す。
③ 取付ばねを引き下げる。



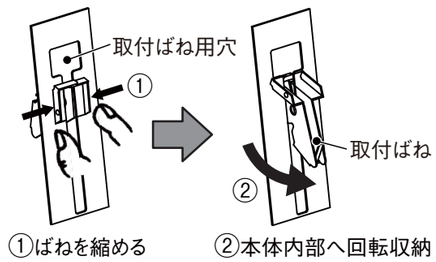
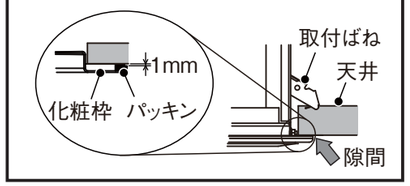
傾斜天井用取付方法

- 傾斜天井用器具（EL-D18/3 シリーズ）は、電源ユニットが傾斜面の低い方向に向くよう取付けを行う。
- 取付位置指示ラベルが傾斜面の高い位置にくるようリニューアルプレートを設置する。



⚠ 警告 EL-D18/3 シリーズは屋外に取付けない（火災・感電の原因）

＜ 取外手順 ＞
① 取付ばねをつまんで縮める。
② 取付ばねを本体内部へ回転させ、収納する。
③ 本体を引き下げる。



※防水パッキン使用の為、
天井との隙間が 1mm 程度あきます。